

来場呼びかけ
西駅交流センター

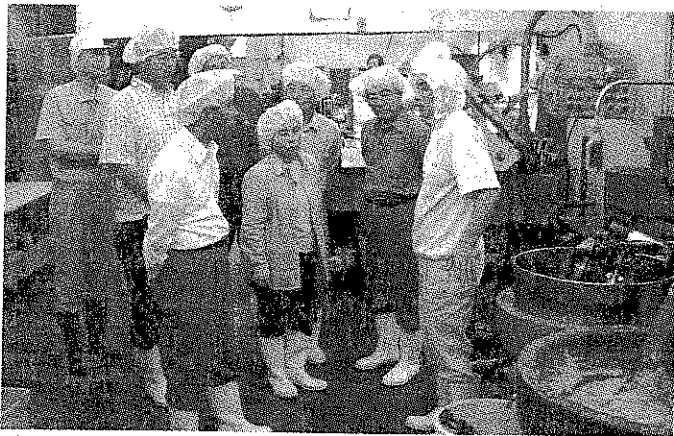
地域経済の振興につながる提言など かまぼこのよさを再発見

まいづる市民
自治研究所

23日、調査報告とフォーラム

舞鶴の名産品となっているかまぼこのよさを再発見し、地域経済の振興につながる提言をしようと、まいづる市民自治研究所(品田茂代表)が、製造業者から聞き取りや市民アンケート調査などに取り組み、二十三日、伊佐津の西駅交流センターでフォーラムを開催する。現状や課題の報告と提言の発表に続き、大学教授や行政担当者らをパネラーに迎え、議論を交わす。来場を呼びかけている。入場無料。

同研究所は、地域や自治体に関する研究活動を行



市内のかまぼこ製造メーカーで説明を受ける調査メンバーら(同研究所提供)

い、豊かな地域生活づくりに役立つと、市民有志で〇五年に設立。約三十人の会員と大学の研究者ら九人が応援会員となる。市内で様々な活動をする団体や事業所などから話を聞く定例会、講演会などを開いてきた。

にぎやかなまちづくりのため、自ら地域を歩いて調査し提言にまとめる実践活動にも力を入れようと、その第一回として舞鶴の名産で定例会でも一度話を聞いたかまぼこをテーマに選んだ。会員と公募の市民で「行け行け」がまぼこ調査隊」を

発行所
(株)舞鶴市民新聞社
〒624-0905
舞鶴市福来912-1
電話 0773-78-2055
0773-77-1750
ファクス 0773-77-1750
郵便振替口座 01000-4-42544

特徴についてなどのアンケートを実施、八百四十五通の回答を得た。調査結果を分析し、かまぼこの地産地消につながる提言を検討している。

パネラーら迎え 試食コーナーも

五月に結成、応援会員で地域経済を専門とする京都大学大学院教授の岡田知弘さん、舞鶴蒲鉾協同組合参事の辻義雄さんらのアドバイスを受けた。市内のかまぼこ製造の五社の工場見学のほか、製品の特徴▽購買層▽商圏▽課題などを聞き取った。また、市民を対象にしてかまぼこの購入先▽調理法▽舞鶴かまぼこの

フォーラムには岡田教授がコーディネーター、パネラーに辻さん、市経済部商工観光課長の砂原由明さんらを招く。舞鶴がまぼこの試食コーナーを設け、おいしい食べ方も紹介する。午後一時半〜同五時。

品田代表は「多くの市民から意見をいただき、身近な食べ物であることを実感しました。全国でも珍しい舞鶴かまぼこの取り組みなど、製造業者のこだわりも知り、よい提言をしたい」と話していた。☎0775・5753、品田さん。

2008年9月16日付け
舞鶴市民新聞